

# 環境局

一般会計要求総額  
30,539,178千円  
(対前年度 16.1%)

## < 要求の基本的考え方 >

「安全・安心で、人と環境にやさしい街」の実現に向けて、「水とみどりの保全・育成と創出」と「地球環境問題への対応と循環型社会の構築」を推進するため、事業の優先付け・重点化を図る。

(単位：千円)

子どもを生き育てやすい環境づくり	一主要事業一	要求額
	福祉と多世代のふれあい公園づくり事業	97,000〔みどりの推進部〕
水とみどりの保全・育成と創出	創成川公園整備	306,000〔みどりの推進部〕
	木立を感じる街づくり事業	158,553〔みどりの推進部〕
	北緯43°花香る北の街づくり事業	48,851〔みどりの推進部〕
地球環境問題への対応と循環型社会の構築	CO <sub>2</sub> 削減普及推進事業	46,969〔環境都市推進部〕
	エゾヒグマ館整備	176,318〔円山動物園〕
	札幌・I社 <sup>®</sup> -eco <sup>®</sup> プロジェクト <sup>®</sup> 外事業	377,720〔環境都市推進部〕
	新たな家庭ごみの分別収集と資源化	1,513,071〔環境事業部〕
	資源回収実施団体奨励金	242,100〔環境事業部〕
	ごみ分けガイド等の配布	101,629〔環境事業部〕

：新規事業      ：バリエアップ事業

## ● 水とみどりの保全・育成と創出

### 創成川公園整備

創成川通アンダーパス連続化事業により創出される地上部分に、水とみどりを生かした新たな空間を整備します。



事業費(みどりの推進部分) 306,000  
(20年度予算額 22,000)  
主な内訳：工事請負費 291,248  
達成目標：都心部における水とみどりの空間  
H18： - H22：1.9ha  
21年度効果：造成工事(供用開始は22年度)

### 木立を感じる街づくり事業

都心部や主要幹線道路における緑ゆたかな街路樹づくりを実施するとともに、地域や家庭での植樹の取組を支援します。



事業費 158,553(20年度予算額 159,300)  
主な内訳：道路緑化推進事業費 108,600  
公共施設緑化推進事業費 25,920  
緑すくすくストリートプラン 11,130  
一家庭一植樹運動推進事業費 8,050  
達成目標：一家庭一植樹運動推進事業による植樹本数(累計) H18：19,294本 H22：59,300本  
21年度効果：+10,000本

## ● 子どもを生き育てやすい環境づくり

### 福祉と多世代のふれあい公園づくり事業

子育てサロンと隣接する公園に乳幼児を対象としたキッズコーナーなどを整備します。



事業費 97,000(20年度予算額：48,200)  
主な内訳：  
バリアフリー公園実施設計等 4,500  
キッズコーナー実施設計 11,500  
キッズコーナー工事費 81,000  
達成目標：キッズコーナー(累計)  
H18： - H22：10カ所  
21年度効果：+5カ所

### 北緯43°花香る北の街づくり事業



地域が主体となって管理する花壇づくりを推進し、市民自ら花苗を育成して植栽する取組を支援します。

事業費 48,851(20年度予算額 54,700)  
主な内訳：コミュニティガーデンプラン 4,130  
ぶらり さっぼろ花ロードプラン 4,340  
歩道美化事業 29,791  
マイタウンマイフラワープラン 4,370  
緑地帯整備事業 4,440  
達成目標：コミュニティガーデン設置数(累計)  
H18： - H22：30カ所  
21年度効果：+10カ所

## ●自主的な環境行動の定着に向けて

### CO<sub>2</sub>削減普及推進事業

二酸化炭素排出削減を実現するため、市民・事業者の自主的な環境保全行動の推進を図る各種の普及啓発事業を推進します。

事業費 46,969(20年度予算額 52,073)

主な内訳：

さっぽろエコ市民運動 12,647

エコドライブ推進事業 8,811

環境教育推進事業 12,500

達成目標 エコライフレポートの取組による

CO<sub>2</sub>排出削減量 H18 - H22 40,000t

21年度効果 30,000t



## ●新エネ・省エネ機器の導入を支援

### 札幌・エネルギーeco プロジェクト事業

札幌市、エネルギー事業者、金融機関が連携して、太陽光発電や省エネルギータイプの給湯器、暖房機などの導入に対して、金利優遇や補助、無利子融資を実施します。

事業費 377,720(20年度予算額 211,000)

主な内訳：住宅ローン提携型融資助成金 4,500

市民向け融資（融資枠 200,000）

利子補給 7,820、預託金 183,000

市民向け補助 50,000

中小企業者向け融資（融資枠 200,000）

利子補給 5,550、預託金 123,970

事務費 2,880

達成目標 省エネ機器等の導入によるCO<sub>2</sub>削減量

H18 13,000t H22 55,000t

21年度効果 43,000t（累計）

## ●新たな家庭ごみの分別収集と資源化

平成21年7月から、家庭から排出される「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の有料化を実施します。

これに併せて、さらなるごみの減量化を進めるために、家庭から出る「雑がみ」や「枝・葉・草」を収集し、資源として活用します。

「雑がみ」：(2週に1回収集)

「新聞・雑誌・ダンボール・紙パックや汚れた紙」以外のすべての紙類（紙箱、包装紙、写真など）をごみステーションで無料収集し、再生紙や固形燃料としてリサイクルします。

「枝・葉・草」：(4週に1回収集)

5月から11月までの間、庭木の剪定枝・葉や刈草などをごみステーションで無料収集し、チップ加工するなどしてリサイクルします。

(平成21年は7月から)

事業費 1,513,071

主な内訳：施設整備経費 438,430

収集処理経費 1,074,641



## ●資源回収実施団体奨励金を増額

### 資源回収実施団体奨励金



対象品目の回収量1kgにつき2円だった団体への奨励金を、1kgにつき3円に増額します。

事業費 242,100(20年度予算額 181,545)

主な内訳：奨励金 237,900

事務費 4,200

達成目標 回収量

H18 58,366t H22 71,930t

21年度効果 +12,000t

## ●ごみ分けガイド等の配布

新しい家庭ごみの分別区分や収集日などを市民の皆さんにわかりやすくお知らせするため、ごみ分けガイド・収集日カレンダーを作成して、平成21年5~6月に、全戸に配布します。また、家庭ごみ有料化実施に向け、お試しの指定袋もあわせて配布します。

事業費 101,629

主な内訳：ごみ分けガイド作成 41,460

収集日カレンダー作成 9,052

お試し袋作成 20,643

配布費用 30,474

## ●円山動物園

### エゾヒグマ館整備

北海道に生息する動物にスポットをあて、身近なところから環境問題を考えるきっかけとする「北海道・北方圏ゾーン」の中に、エゾヒグマ館を建設します。

事業費 176,318(新規)

主な内訳：設計・監理 4,328

建設工事費 166,888

達成目標 入園者数

H19 609,614人 H22 900,000人

### <主な見直し項目(効果額)>

・一般事務費の削減 1,766

・施設運営管理費の見直し 33,992

・ごみ処分手数料の改定  
埋立・焼却・資源化・し尿等 1,078,006